



始業式



こぐまじゅんこ

今日は、始業式。

夏休みが終わり、2学期が始まった。久しぶりに教室に入るとなつかしい顔・顔。

1か月ちょっとの休みの間に、こんなに真っ黒になれるのかと思うような友達もいたが、みんな、あいかわらず、ばかなことばかり言っている。ちょっとは成長しろよな、と、ぼくは思ったが、そういうぼくだって何も変わってはいない気がする。

ふと、窓の外に目をやると、セミがとまっていた。

もう鳴く元気はないのか、じっととまっているだけだ。

セミは地上にでてから、7日間しか生きられないと、聞いたことがある。

7日間の人生。

それって、どんな気持ちなのかなあ、と、ぼくは思った。

ぼくの人生が7日だったら・・・。

1日目、この世に生れて、驚いて泣いて、お母さんと対面。続いてお父さん、家族と会う。あとは、おっぱいを飲んで寝るだけ。

2日目、歩けるようになって、外の世界を楽しむ。言葉を話す勉強をする。

3日目、自分の言葉を字に書く練習をする。

4日目、詩のようなものを書き始める。

5日目、1日、詩を書いたり本を読んだりする。

6日目、詩を本にまとめる。

7日目、ぼくの生きた証の本を残して死ぬ。

なんか、考えていくうち、ぼくのしたいことがみえてきた。

ぼくは、本を書けたらいいなあ、と思ってるんだな。

いわゆる作家さんになりたいんだ。

ぼくの人生は、セミとはちがって、ざっと70年はあると思う。病気になったり、事故にあえば別だけど、健康でいられれば、90年や100年だってあるかもしれない。

セミの10倍以上あるんだ。

自分の夢が叶う確率は、セミよりずっと高いんだよね。

これから、ぼくは夢に向かってがんばろう。

新学期の始まった教室で、ぼくは、気持ちをひきしめた。

窓の外にセミが、ジジジッといって、とびたつた。